

チェックテスト 解答

7章 作業療法部門の管理

1 専門職としての職業倫理 (p.350)

①

患者の最善の利益の決定は医師の権利と責任とし、患者はすべて医師に委ねればよいという考え方。父権主義と訳されている。

②

対象者や家族へ、治療・援助・支援に関して目的、方法を説明し、同意を得ること。

③

12

2 記録と報告 (p.357)

①

処方箋（指示箋，依頼箋）

②

OTS ○○

③

訂正した内容がわかるように、横線2本を引く。修正液は使用できない。

④

S は Subjective data（主観的情報，対象者の訴え）

3 診療報酬 (p.365)

①

1974（昭和49）年

②

心大血管疾患リハビリテーション料

4 リスク管理 (p.370)

①

患者に被害を及ぼすことはなかったが、日常診療の現場で、「ヒヤリ」としたり、「ハッ」と

した経験を有する事例。

5 作業療法部門の管理 (p.375)

①

業務，人事，記録，リスク，設備・備品・消耗品管理および作品の取り扱い。

②

知的障害，精神障害，認知機能の低下などのために，自分で判断する能力が不十分だったり，意志や権利を主張することが難しい人たちのために，代理人が権利の主張や自己決定をサポートしたり，代弁して権利を擁護したり表明したりすること。

③

リスクを把握・評価して組織的に対策を立てること（事故防止活動）」と「事故が発生したら適切に対応して損害を最低限にすること（事故の対応）」の両方を含む取り組みを，他職と横断的に協働しながら管理する。